

モニタリング機器の効果確認試験



JAみついし

道下 潔



6月24日撮影①



6月24日撮影②



6月24日撮影③

試験目的

ハウスモニタリングシステムの実用性確認

試験作物
及び品種

デルフィニウム

試験資材
及び数量(規格)

みどりクラウド(みどりボックス2)

慣行資材

なし

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

設置は簡単であった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

二酸化炭素濃度や土壌水分がわかることはシネンシスの生育を見るのに良かった。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：これまでも昼間は温湿度計を見ていたが、みどりクラウドを導入することで夜の変化もわかるようになった。土壌水分がデータとして見れ、これまで感覚的に行っていた灌水を適量与えることができよかった。特に、曇天が続いてる日は灌水のタイミングが難しかったのが改善された。(今までは灌水量が多かったことがわかった。)アプリのデータやグラフも見やすかった。

モニター感想

二酸化炭素濃度や土壌水分が目で見えてわかり栽培管理の役に立った。

特に、これまで感覚で行っていた曇天の日の灌水を土壌水分を見ながら行うことができるのは良かった。

モニタリングだけでは割高に感じるので、灌水や巻き上げの制御ができるとより良いと思う。

JA担当者の感想(購買課 成田部長)

みどりクラウドを使うことで様々なデータが見えるようになり、適切な栽培管理ができるようになってきている。

特に土壌水分はこれまで数値化できていなかった項目なので今回の試験で有効に活用できたと思う。

今後、こういったICT資材や省力化資材が必要になってくる時代だと思うので、最新の情報を常に把握できるよう努めていきたい。

今後の使用について

改良してほしい。

モニタリングのみだと割高に感じる。モニタリング+制御もできる資材だと尚良い。

将来希望する資材について

モニタリング+制御もできる資材。

1 農プロフィルム

2 マルチ

3 不織布

4 育苗資材

5 トンネル資材

6 防虫ネット

7 酪農資材

8 ICT機器

9 その他